

【佳作】

日本海沿岸地方型地域密着保育システム

～女性雇用問題の解決～

東京理科大学 経営学部	原田 一樹
〃	平野 早奈美
〃	山下 祐輔
〃	渡辺 彩花

(要旨)

今日日本では、少子高齢化問題に伴う生産年齢人口の減少により今後の経済成長が阻害されることが懸念されている。そこで、女性の就業率を改善することにより労働力人口の増加を、女性の就業形態を改善することで労働生産性の増加を、図れるのではないかと考えた。

女性の就業と育児の関係性を明らかにするために、出生率と有業率の高低を4つのグループに分けて分析した。その結果、日本海側では、就業している女性、フルタイムで働く女性の割合が非常に高かった。さらに、出生率も他の地域に比べて高い結果が出た。これらの結果が得られた要因として、3世代世帯で住むことによる育児関連問題を解決していることが考えられる。

そこで当論文では、地方自治体を媒介に地域の高齢者と核家族を繋げるシステムを提案する。このシステムでは、地域の商店や地域通貨等の経済メカニズムを用いることにより、地域活性化や密接なコミュニティを構築することが出来る。